

授業科目 比較文化学特論 I	単位 2 単位
授業担当者 廣瀬 浩二郎	授業期間 前期
授業の題目と概要 日本の触文化 ―視覚障害者がみた世界― 本講義では、“さわる”をキーワードとして日本の視覚障害者の歴史を概説する。人類学の研究手法を駆使し、琵琶法師、イタコ、瞽女などが果たした宗教・芸能的役割を分析していく。	
授業の内容と計画 ①私の生い立ち（日本の視覚障害者の現状） ②盲学校（特殊）教育の歴史、インクルーシブ教育の理念 ③琵琶法師と盲僧の歴史 ④盲巫女（イタコ）の歴史 ⑤瞽女の歴史 ⑥体験プログラム「瞽女文化にさわる」がめざすもの ⑦日本宗教の障害観 ⑧新宗教と障害者文化 ⑨欧米における「障害学」の動向 ⑩博物館を活用する触文化研究の可能性	
使用する参考書、参考論文等 広瀬浩二郎『さわる文化への招待』（世界思想社、2009年）	
成績評価基準 授業への参加（発言内容、出席率）20 パーセント 期末レポート 80 パーセント	
その他の留意事項	